

第4次町田市地域福祉計画策定に向けた市民アンケート調査 調査結果概要

1 調査概要

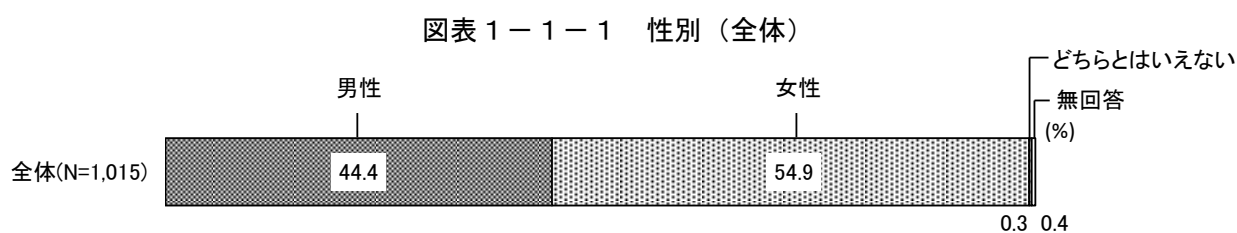
調査目的	2022年度を初年度とする「(仮称)第4次町田市地域福祉計画」の策定に向けて、計画策定の基礎資料とするために、18歳以上の市民を対象に地域福祉に関する生活実態やご意見などを把握することを目的に実施する。
調査対象	18歳以上の町田市内在住者2,000人
調査方法	郵送配布・郵送回収(督促礼状1回送付)
調査時期	2020年2月13日(木)～3月5日(木)
有効回収数(率)	1,015件(50.8%)

2 調査結果(抜粋)

(1) 基本属性

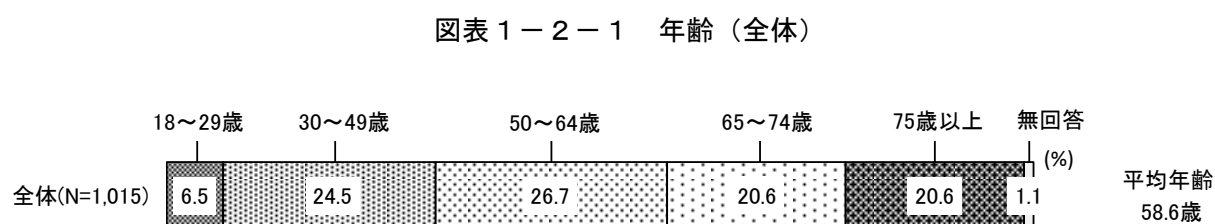
① 性別(問1)

問1 あなた(あて名のご本人)の性別を教えてください。(〇は1つだけ)



② 年齢(問2)

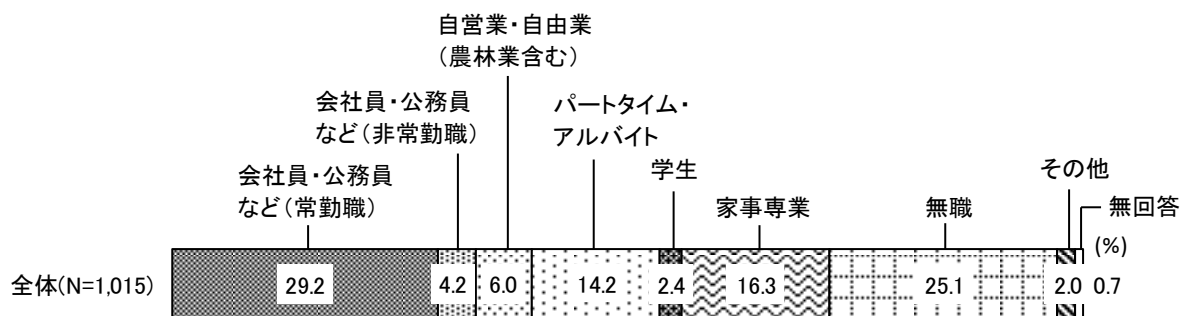
問2 あなたの2020年1月1日現在の年齢を教えてください。(右づめで数字を記入)



③ 職業（問3）

問3 あなたの職業を教えてください。（○は1つだけ）

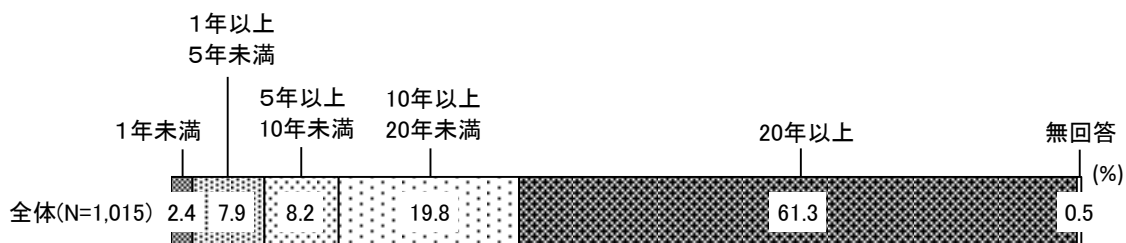
図表1-3-1 職業（全体）



④ 居住年数（問4）

問4 あなたの町田市での居住年数を教えてください。（○は1つだけ）

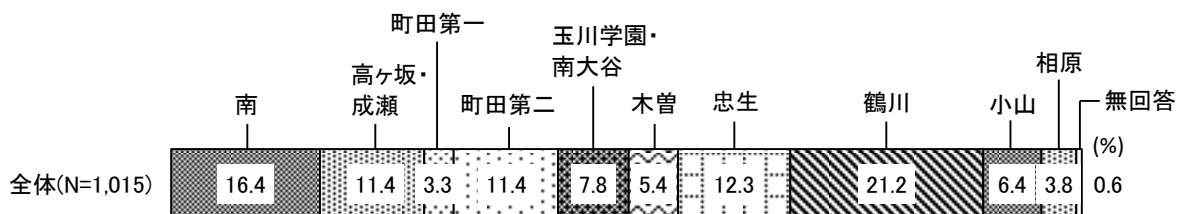
図表1-4-1 居住年数（全体）



⑤ 居住地区（問5）

問5 現在、あなたがお住まいの地区を教えてください。（○は1つだけ）

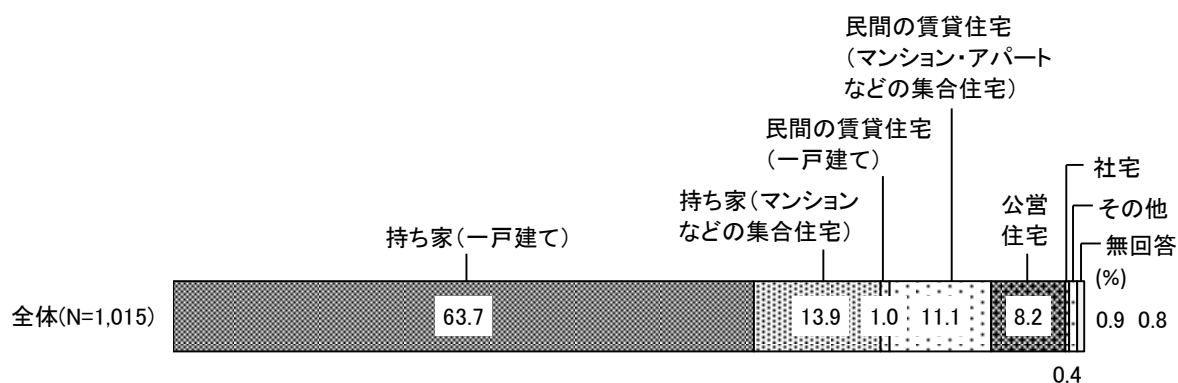
図表1-5-1 居住地区（全体）



⑥ 住まいの形態（問6）

問6 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（○は1つだけ）

図表1-6-1 住まいの形態（全体）



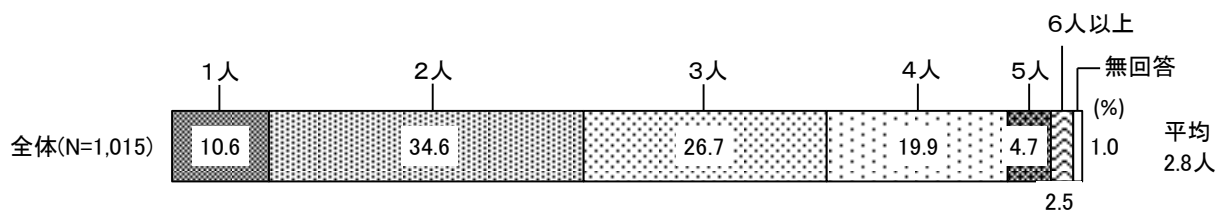
(2) 家族の状況

① 同居家族の人数（問7）

問7 あなたを含め同居しているご家族は何人ですか？（右づめで数字を記入）

- 同居家族の人数は、「2人（34.6%）」が最も多く、「3人（26.7%）」、「4人（19.9%）」が続いている。平均2.8人である。

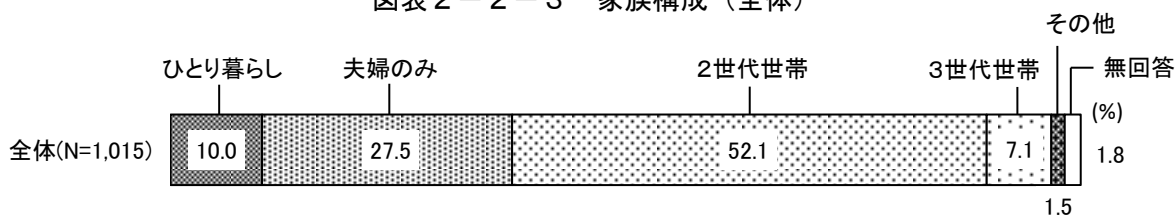
図表2-1-1 同居家族の人数（全体）



② 家族構成（問7・8）

- 同居家族の人数と種類から分類した家族構成は、「2世代世帯（52.1%）」が半数を占めており、「夫婦のみ」が27.5%、「ひとり暮らし」が10.0%、「3世代世帯」が7.1%となっている。

図表2-2-3 家族構成（全体）

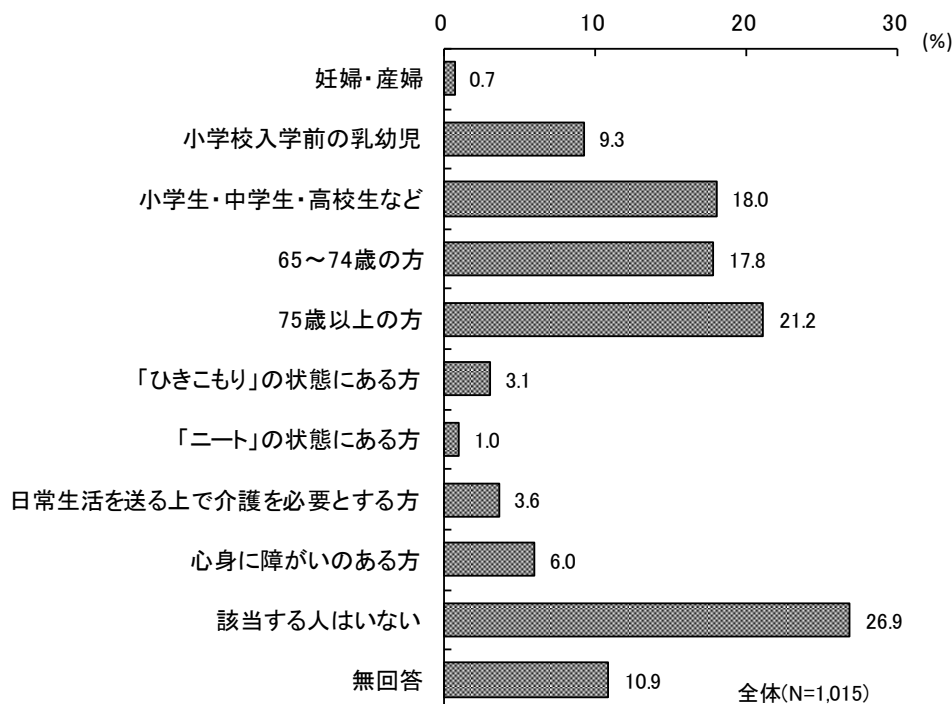


③ 特定の状態にある家族の有無（問9）

問9 問8で○をしたご家族に、次のような方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- 特定の状態にある家族の有無は、「75歳以上の方（21.2%）」が最も多く、「小学生・中学生・高校生など（18.0%）」、「65～74歳の方（17.8%）」が続いている。なお、「該当する人はいない」が26.9%となっている。

図表2-3-1 特定の状態にある家族の有無（全体）

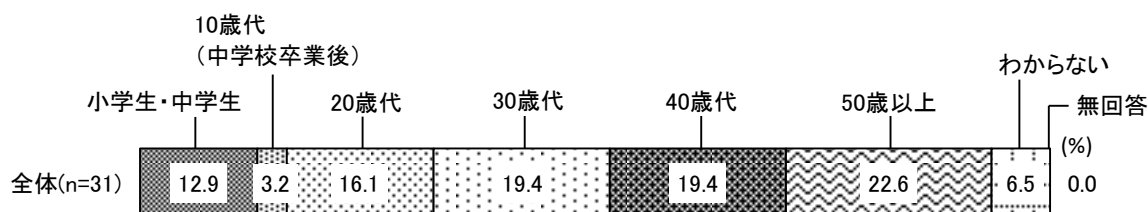


④ 「ひきこもり」の状態にある方の年齢（問9-1）

【問9-1は、問9で「6. 「ひきこもり」の状態にある方」を選んだ方にお伺いします】
問9-1 「ひきこもり」の状態にある方の年齢は次のどれですか。（○は1つだけ）

- 「ひきこもり」の状態にある方の年齢は、「50歳以上（22.6%・7人）」が最も多く、「30歳代（19.4%・6人）」、「40歳代（19.4%・6人）」が同率で続いている。

図表2-4-1 「ひきこもり」の状態にある方の年齢（全体）
<家族に「ひきこもり」の状態にある方がいる人>



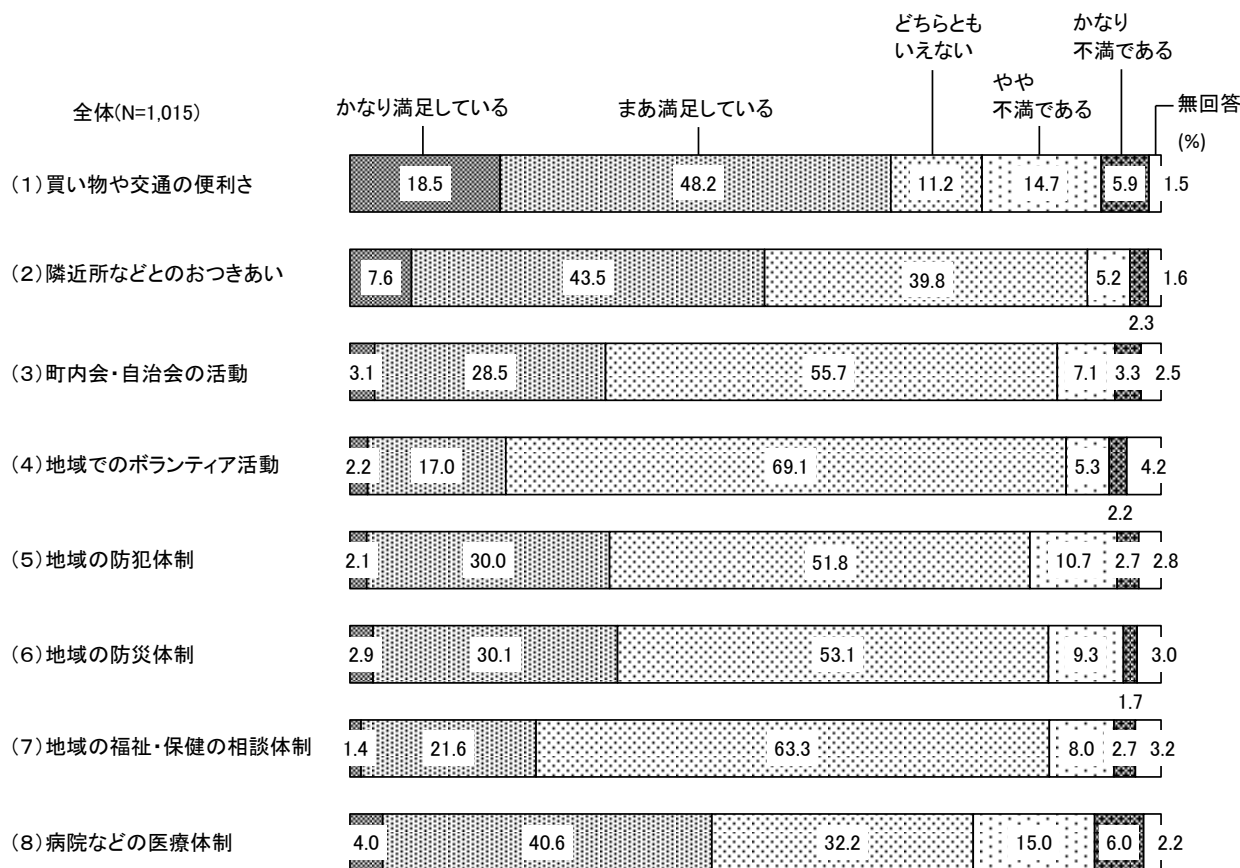
(3) 地域での暮らし

① 地域の暮らしやすさについての満足度 (問 11)

問 11 あなたが現在お住まいの地域での暮らしやすさについて、どの程度満足していますか。
 (1) から (8) について、それぞれ1つに○をしてください

- ・ 地域の暮らしやすさについての満足度は、「かなり満足している」と「満足している」を合計した《満足》の割合は、『買い物や交通の便利さ (66.7%)』で 60%台、『隣近所などのおつきあい (51.1%)』で 50%台、『病院などの医療体制 (44.6%)』で 40%台、『地域の防災体制 (33.0%)』、『地域の防犯体制 (32.1%)』、『町内会・自治会の活動 (31.6%)』で 30%台、『地域の福祉・保健の相談体制 (23.0%)』で 20%台、『地域でのボランティア活動 (19.2%)』で 20%弱となっている

図表 地域の暮らしやすさについての満足度 (全体)



② 毎日のくらしのなかでの困りごと（問 14）

- ・ 毎日のくらしのなかでの困りごとについて、健康、子育て、介護、経済的、住まいの5項目で、1項目でも困りごとがある人は56.9%、2項目以上ある人は29.7%、3項目以上ある人は13.3%となっており、困りごとの複合化が見られます。この中で、ダブルケア（子育てと介護）で困っている人は、2.0%となっています。困りごとの内容で25%を超えたのは「健康のこと」「経済的なこと」「住まいのこと」となっています。

図表 困りごとの項目数（全体）＜いずれかの項目で困りごとがある数と組み合わせ＞

悩みごとの項目数	該当する項目	N	%
0		402	39.6
1		277	27.3
	介護	25	2.5
	経済	60	5.9
	健康	101	10.0
	子育て	32	3.2
	住まい	59	5.8
2		166	16.4
	介護、経済	8	0.8
	介護、住まい	8	0.8
	経済、住まい	44	4.3
	健康、介護	8	0.8
	健康、経済	34	3.3
	健康、子育て	10	1.0
	健康、住まい	23	2.3
	子育て、介護	2	0.2
	子育て、経済	17	1.7
	子育て、住まい	12	1.2
3		121	11.9
	介護、経済、住まい	5	0.5
	健康、介護、経済	8	0.8
	健康、介護、住まい	6	0.6
	健康、経済、住まい	74	7.3
	健康、子育て、介護	1	0.1
	健康、子育て、経済	11	1.1
	健康、子育て、住まい	1	0.1
	子育て、介護、経済	3	0.3
	子育て、経済、住まい	12	1.2
4		7	0.7
	健康、子育て、介護、経済	3	0.3
	健康、子育て、介護、住まい	2	0.2
	子育て、介護、経済、住まい	2	0.2
5		7	0.7
	健康、子育て、介護、経済、住まい	7	0.7
無回答		35	3.4
総計		1,015	100.0

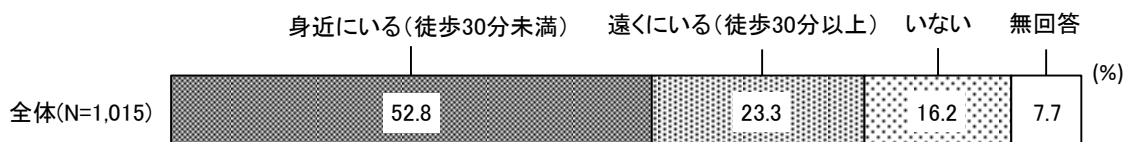
【再掲】	健康	289	28.5
	子育て	124	12.2
	介護	111	10.9
	経済	288	28.4
	住まい	255	25.1
	ダブルケア（子育てと介護）	20	2.0

③ 悩みごとや困りごとの相談相手の有無（問 15）

問 15 あなたは、悩みごとや困りごとを相談できる相手（機関も含む）はいますか。
（○は1つだけ）

- ・ 悩みごとや困りごとの相談相手の有無は、「身近にいる（徒歩 30 分未満）」が 52.8%、「遠くにいる（徒歩 30 分以上）」が 23.3%、「いない」が 16.2%となっている。

図表 悩みごとや困りごとの相談相手の有無（全体）

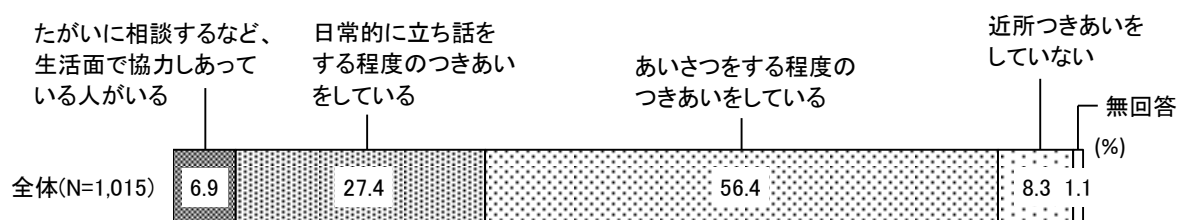


④ 近所つきあいの程度（問 16）

問 16 あなたは、日頃、隣近所とどのようなつきあい方をしていますか。（○は1つだけ）

- ・ 近所つきあいの程度は、「あいさつをする程度のつきあいをしている（56.4%）」が 50%を超え最も多く、「日常的に立ち話をする程度のつきあいをしている（27.4%）」が続いている。「近所つきあいをしていない」が 8.3%となっている。

図表 近所つきあいの程度（全体）

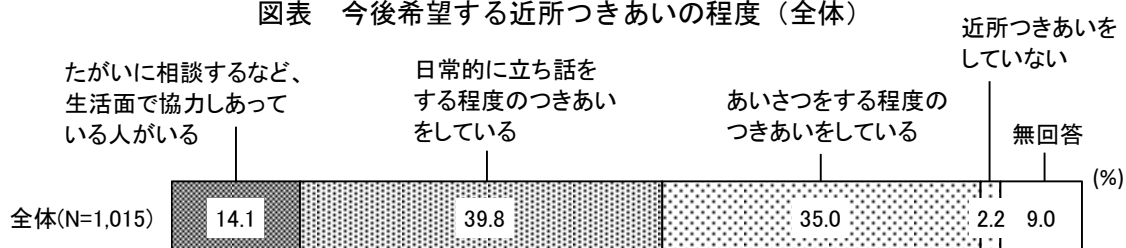


⑤ 今後希望する近所つきあいの程度（問 17）

問 17 あなたは、今後、隣近所とはどの程度のつきあい方を望んでいますか。
問 16 の選択肢の番号を下の に記入してください。（選択は1つだけ）

- ・ 今後希望する近所つきあいの程度は、「日常的に立ち話をする程度のつきあいをしている（39.8%）」が最も多く、「あいさつをする程度のつきあいをしている（35.0%）」が続いている。

図表 今後希望する近所つきあいの程度（全体）



⑥ 現在の近所づきあいの程度別にみた今後希望する近所づきあいの程度

- ・ 今後希望する近所づきあいの程度（問 17）を近所づきあいの程度（問 16）別にみると、「立ち話をする程度のつきあいをしている」、「あいさつをする程度のつきあいをしている」、「近所づきあいをしていない」と回答した人のほとんどが、今後は現状かそれ以上深い近所づきあいを希望している。

図表 今後希望する近所づきあいの程度（全体、近所づきあいの程度別）

		回答者数	互いに相談等、生活面で協力しあっている	立ち話をする程度のつきあいをしている	あいさつをする程度のつきあいをしている	近所づきあいをしていない	無回答 (%)
全体		1,015	14.1	39.8	35.0	2.2	9.0
近所づきあいの程度別 【問16】	互いに相談等、生活面で協力しあっている	70	77.1	5.7	5.7	0.0	11.4
	立ち話をする程度のつきあいをしている	278	16.9	74.1	0.7	0.4	7.9
	あいさつをする程度のつきあいをしている	572	6.6	30.9	55.1	0.2	7.2
	近所づきあいをしていない	84	3.6	17.9	38.1	23.8	16.7

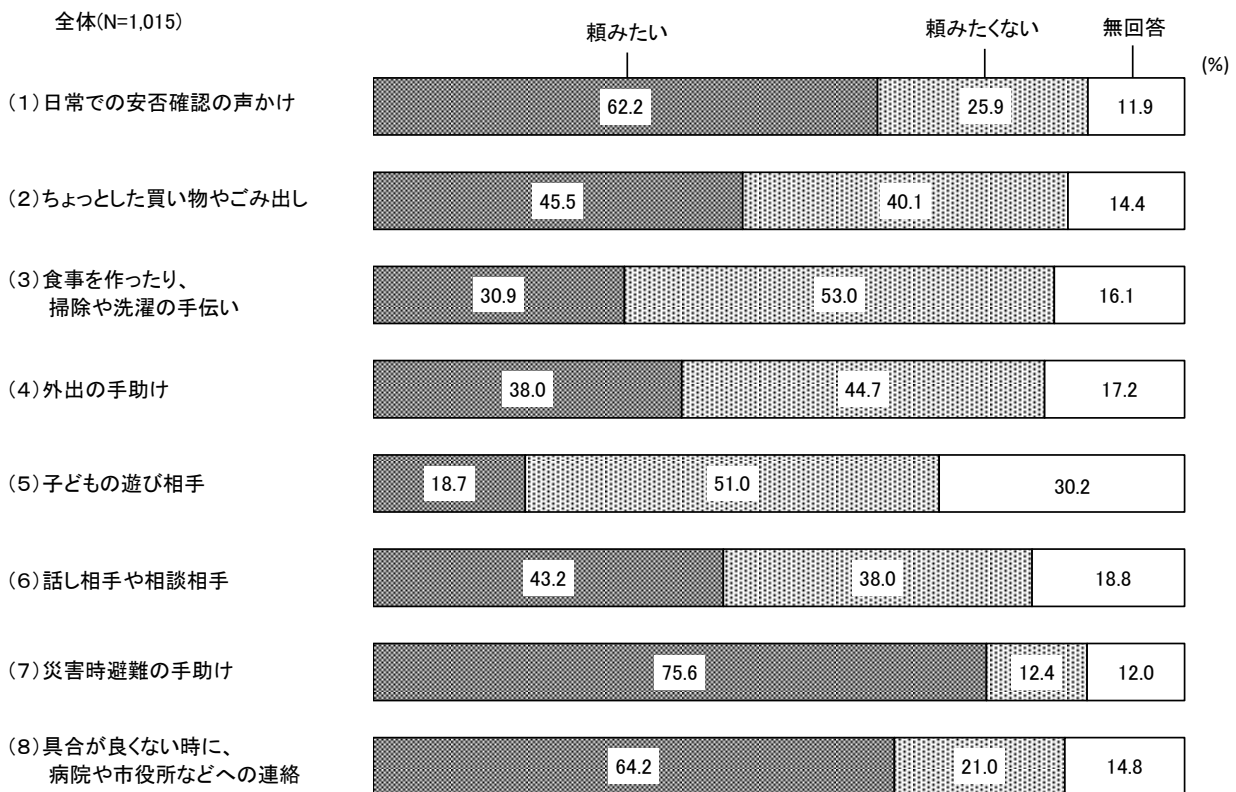
⑦ 病気や事故で日常生活が不自由になったときや、高齢になったときに、地域に頼みたいこと（問18①）

問18 次の日常生活に関することについて、お伺いします。

① あなたがこれから、病気や事故で日常生活が不自由になったときや、高齢になったときに、地域に頼みたいと思うことはありますか。

- ・ 病気や事故で日常生活が不自由になったときや、高齢になったときに、地域に頼みたいことについて、「頼みたい」の割合は、『災害時避難の手助け（75.6%）』が70%台、『具合が良くない時に、病院や市役所などへの連絡（64.2%）』、『日常での安否確認の声かけ（62.2%）』が60%台で高くなっている。

図表 病気や事故で日常生活が不自由になったときや、高齢になったときに、地域に頼みたいこと（全体）



- ・ 地域に頼みたいことが1つでもあると回答した人を「頼みたいことがある」とした場合、「頼みたいことがある」は85.4%となっている。
- ・ 性・年代別にみると、「頼みたいことがある」の割合は、男性 30～49 歳、女性 18～29 歳、30～49 歳、50～64 歳で 90%を超えている。

図表 病気や事故で日常生活が不自由になったときや、高齢になったときに、地域に頼みたいことの有無
(全体)



図表 病気や事故で日常生活が不自由になったときや、高齢になったときに、地域に頼みたいことの有無
(全体、性・年代別)

		回答者数	頼みたいことがある (%)	頼みたいことはない (%)	無回答 (%)
全体		1,015	85.4	9.7	4.9
性・年代別	男性-18～29歳	21	85.7	9.5	4.8
	男性-30～49歳	103	91.3	8.7	0.0
	男性-50～64歳	136	89.0	9.6	1.5
	男性-65～74歳	89	76.4	18.0	5.6
	男性-75歳以上	99	78.8	14.1	7.1
	女性-18～29歳	45	93.3	6.7	0.0
	女性-30～49歳	143	93.0	6.3	0.7
	女性-50～64歳	135	91.9	4.4	3.7
	女性-65～74歳	120	82.5	10.8	6.7
	女性-75歳以上	110	70.9	10.9	18.2

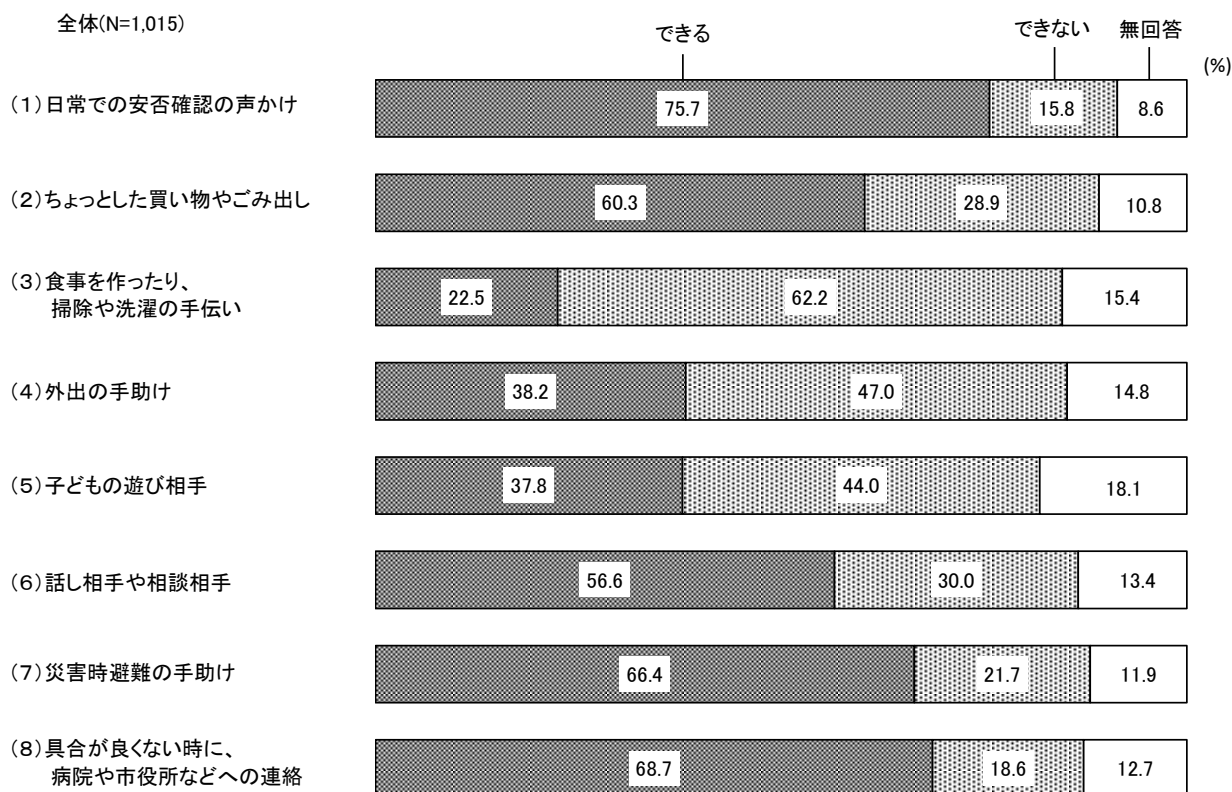
⑧ 高齢、障がい、子育てなどで困っている方がいた場合、頼まれたらできること
(問 18②)

問 18 次の日常生活に関することについて、お伺いします。

② あなたのお住まいの地域で、日常生活を送るうえで高齢、障がい、子育てなどで困っている方がいた場合、頼まれたらできることはありますか。

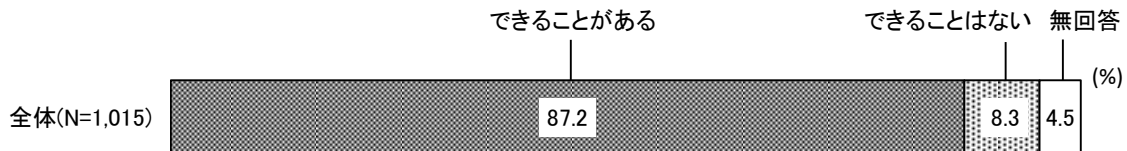
- ・ 高齢、障がい、子育てなどで困っている方がいた場合、頼まれたらできることについて、「できる」の割合は、『日常での安否確認の声かけ (75.7%)』が 70% 台、『具合が良くない時に、病院や市役所などへの連絡 (68.7%)』、『災害時避難の手助け (66.4%)』、『ちょっとした買い物やごみ出し (60.3%)』が 60% 台で高くなっている。

図表 高齢、障がい、子育てなどで困っている方がいた場合、頼まれたらできること (全体)



- ・ 頼まれたらできることが1つでもあると回答した人を「できることがある」とした場合、「できることがある」人は87.2%となっている。
- ・ 性・年代別にみると、「できることがある」人の割合は、男性 18～29 歳、50～64 歳、女性 18～29 歳、30～49 歳、65～74 歳で90%を超えている。

図表 高齢、障がい、子育てなどで困っている方がいた場合、頼まれたらできることの有無
(全体)



図表 高齢、障がい、子育てなどで困っている方がいた場合、頼まれたらできることの有無
(全体、性・年代別)

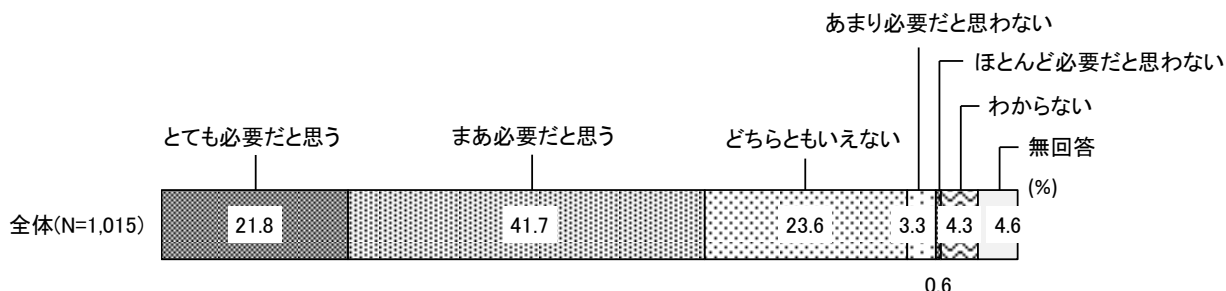
		回答者数	できることがある	できることはない	無回答
全体		1,015	87.2	8.3	4.5
性・年代別	男性-18～29歳	21	90.5	9.5	0.0
	男性-30～49歳	103	89.3	9.7	1.0
	男性-50～64歳	136	92.6	5.1	2.2
	男性-65～74歳	89	86.5	10.1	3.4
	男性-75歳以上	99	77.8	16.2	6.1
	女性-18～29歳	45	95.6	2.2	2.2
	女性-30～49歳	143	96.5	2.8	0.7
	女性-50～64歳	135	89.6	7.4	3.0
	女性-65～74歳	120	90.8	4.2	5.0
	女性-75歳以上	110	63.6	17.3	19.1

⑨ 住民どうしの自主的な協力関係の必要性（問 19）

問 19 あなたは、地域での生活で生じる問題に対して、住民どうしの自主的な協力関係が必要だと思えますか。（○は1つだけ）

- ・ 住民どうしの自主的な協力関係の必要性は、「とても必要だと思う（21.8%）」と「まあ必要だと思う（41.7%）」を合計した《必要》は63.5%となっている。

図表 住民どうしの自主的な協力関係の必要性（全体）



⑩ 住民どうしの自主的な協力関係をつくるのに必要なこと（問 19-1）

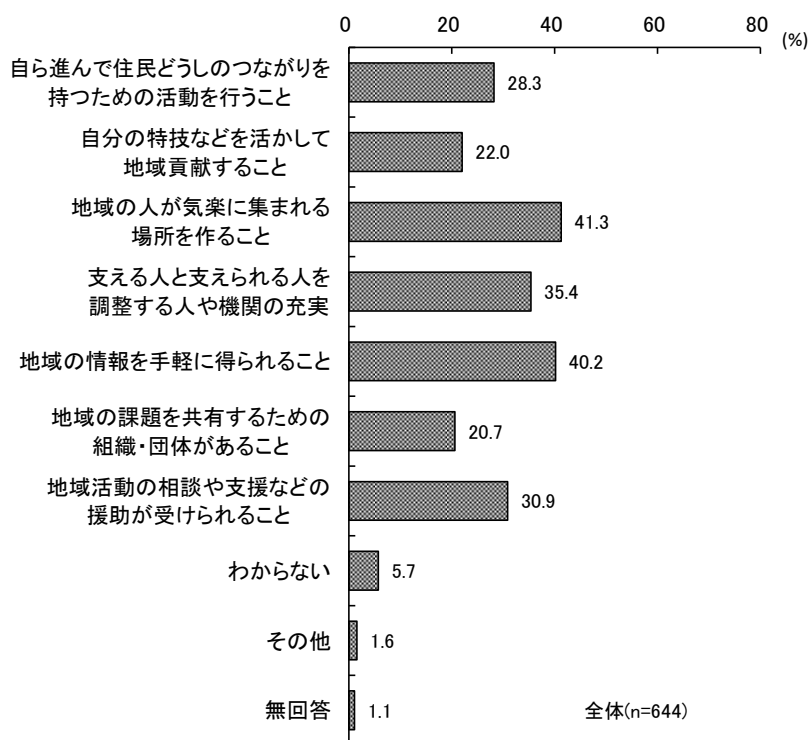
【問 19-1 は、問 19 で「1」または「2」と回答した方にお伺いします】

問 19-1 あなたは、住民どうしの自主的な協力関係がつけられるためにはどんなことが必要だと思えますか。（○は3つまで）

- ・ 住民どうしの自主的な協力関係をつくるのに必要なことは、「地域の人々が気楽に集まれる場所を作ること（41.3%）」と「地域の情報を手軽に得られること（40.2%）」が40%を超えて多く、「支える人と支えられる人を調整する人や機関の充実（35.4%）」が続いている。

図表 住民どうしの自主的な協力関係をつくるのに必要なこと（全体）

<住民どうしの自主的な協力関係が必要だと回答した人>



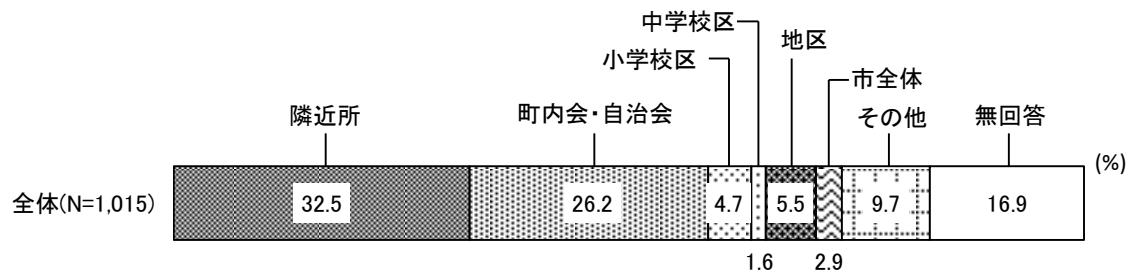
4 地域活動・ボランティア活動

① 地域活動をする範囲（問 22）

問 22 あなたが日頃の地域活動をする範囲は次のどれですか。（○は1つだけ）

- ・ 地域活動をする範囲は、「隣近所（32.5%）」が最も多く、「町内会・自治会（26.2%）」が続いている。

図表 地域活動をする範囲（全体）



② 地域活動・ボランティア活動への参加状況（問 23）

問 23 あなたは、地域活動やボランティア活動に参加していますか。（○は1つだけ）

- ・ 地域活動・ボランティア活動への参加状況は、「参加している」が26.7%となっている。
- ・ 性・年代別にみると、「参加している」の割合は、男性65～74歳で40.4%、女性30～49歳で30.1%と高くなっている。

図表 地域活動・ボランティア活動への参加状況（全体）



図表 4-2-2 地域活動・ボランティア活動への参加状況
（全体、性・年代別）

		回答者数	参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		1,015	26.7	72.0	1.3
性・年代別	男性-18～29歳	21	14.3	85.7	0.0
	男性-30～49歳	103	20.4	79.6	0.0
	男性-50～64歳	136	22.8	77.2	0.0
	男性-65～74歳	89	40.4	58.4	1.1
	男性-75歳以上	99	26.3	72.7	1.0
	女性-18～29歳	45	17.8	82.2	0.0
	女性-30～49歳	143	30.1	68.5	1.4
	女性-50～64歳	135	27.4	71.1	1.5
	女性-65～74歳	120	28.3	70.0	1.7
	女性-75歳以上	110	26.4	69.1	4.5

③ 地域活動・ボランティア活動に参加していない理由（問 23-3）

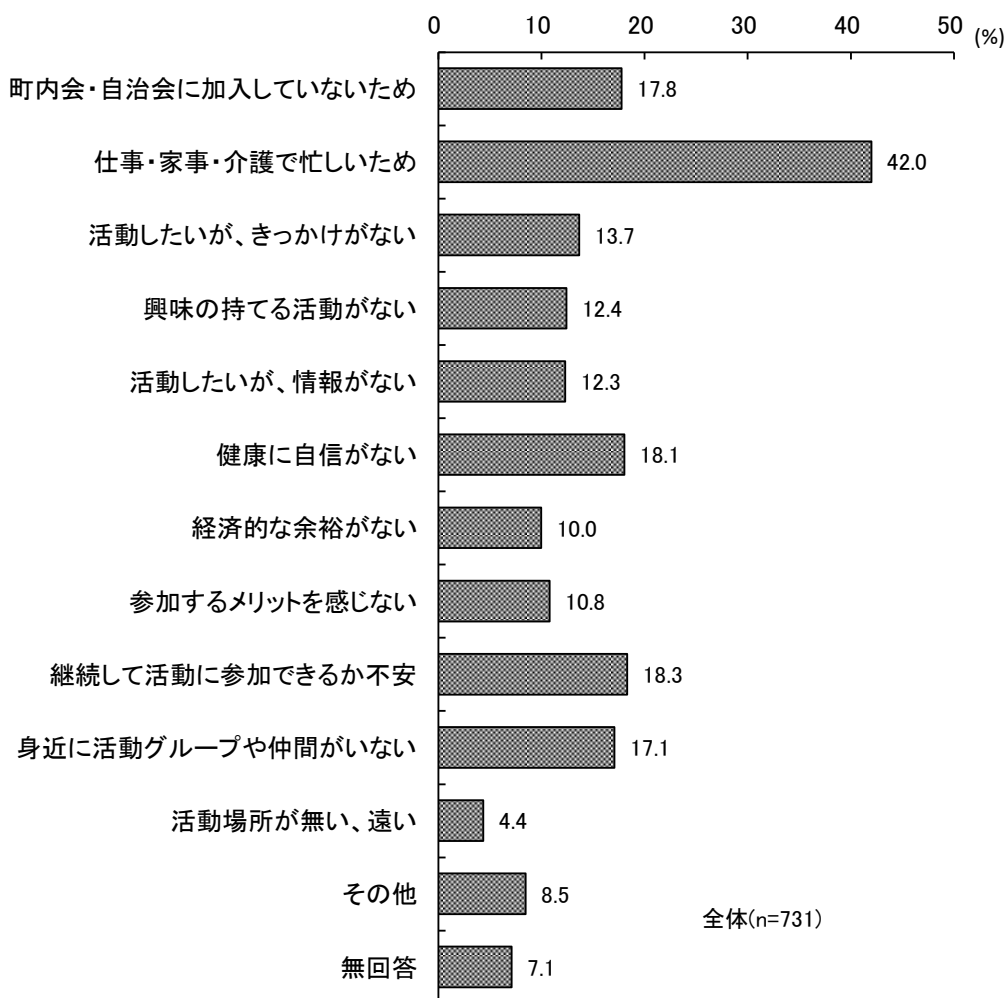
【問 23-3 は、問 23 で「2. 参加していない」と回答した方にお伺いします】

問 23-3 地域活動やボランティア活動に参加していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- ・ 地域活動・ボランティア活動に参加していない理由は、「仕事・家事・介護で忙しいため(42.0%)」が最も多く、「継続して活動に参加できるか不安（18.3%)」、「健康に自信がない（18.1%)」が続いている。
- ・ 性・年代別にみると、男性 18～29 歳では「活動したいが、きっかけがない（27.8%)」、男性 75 歳以上、女性 65～74 歳、女性 75 歳以上では「健康に自信がない」、その他の性・年代では「仕事・家事・介護で忙しいため」が最も多くなっている。また、男性 65～74 歳では「活動したいが、きっかけがない（26.9%)」、「活動したいが、情報がない（23.1%)」、女性 18～29 歳では「参加するメリットを感じない（21.6%)」、女性 30～49 歳では「町内会・自治会に活動していないため（28.6%)」が全体を 10 ポイント以上上回っている。

図表 地域活動・ボランティア活動に参加していない理由（全体）
 <地域活動・ボランティア活動に参加していない人>



図表 地域活動・ボランティア活動に参加していない理由
 (全体、性別、性・年代別、地区別、家族構成別、居住年数別)
 <地域活動・ボランティア活動に参加していない人>

(%)

		回答者数	町内会・自治会に加入していないため	仕事・家事・介護で忙しいため	活動したいが、きっかけがない	興味を持てる活動がない	活動したいが、情報がない	健康に自信がない	経済的な余裕がない
全体		731	17.8	42.0	13.7	12.4	12.3	18.1	10.0
性・年代別	男性-18～29歳	18	16.7	22.2	27.8	11.1	11.1	5.6	5.6
	男性-30～49歳	82	19.5	61.0	17.1	8.5	14.6	1.2	8.5
	男性-50～64歳	105	13.3	61.9	14.3	17.1	13.3	8.6	13.3
	男性-65～74歳	52	23.1	28.8	26.9	15.4	23.1	15.4	11.5
	男性-75歳以上	72	5.6	9.7	22.2	13.9	13.9	34.7	8.3
	女性-18～29歳	37	27.0	51.4	16.2	16.2	13.5	5.4	10.8
	女性-30～49歳	98	28.6	66.3	7.1	13.3	12.2	6.1	8.2
	女性-50～64歳	96	20.8	47.9	6.3	8.3	11.5	10.4	14.6
	女性-65～74歳	84	15.5	28.6	14.3	14.3	11.9	41.7	8.3
	女性-75歳以上	76	10.5	11.8	3.9	6.6	1.3	42.1	2.6

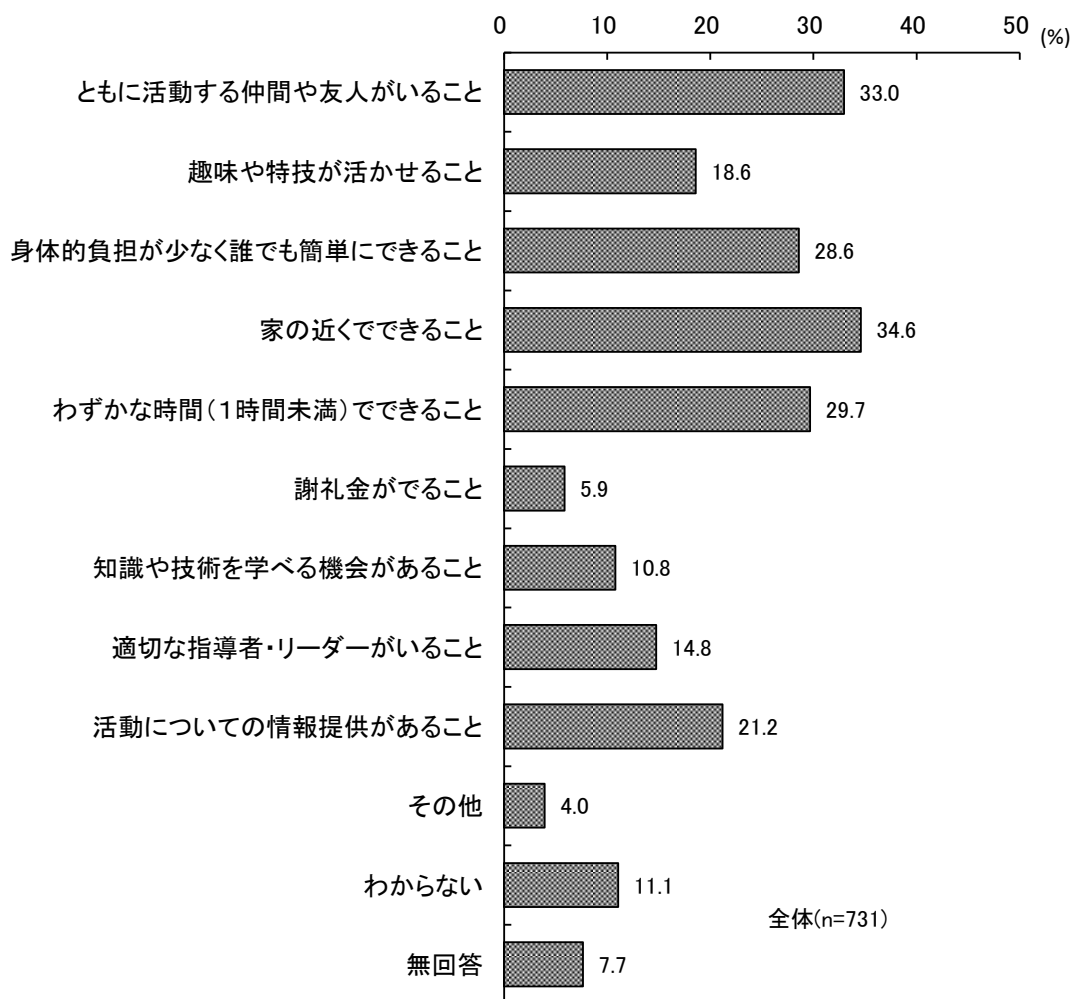
		回答者数	参加するメリットを感じない	継続して活動に参加できるか不安	身近に活動グループがない	活動場所が無い、遠い	その他	無回答
全体		731	10.8	18.3	17.1	4.4	8.5	7.1
性・年代別	男性-18～29歳	18	11.1	22.2	16.7	11.1	0.0	11.1
	男性-30～49歳	82	14.6	17.1	11.0	3.7	6.1	3.7
	男性-50～64歳	105	16.2	21.0	19.0	3.8	7.6	7.6
	男性-65～74歳	52	19.2	19.2	11.5	5.8	5.8	7.7
	男性-75歳以上	72	6.9	16.7	18.1	2.8	13.9	8.3
	女性-18～29歳	37	21.6	16.2	21.6	13.5	8.1	2.7
	女性-30～49歳	98	7.1	12.2	20.4	1.0	6.1	2.0
	女性-50～64歳	96	8.3	20.8	17.7	2.1	8.3	10.4
	女性-65～74歳	84	7.1	23.8	17.9	4.8	6.0	6.0
	女性-75歳以上	76	3.9	14.5	14.5	6.6	15.8	14.5

④ 地域活動・ボランティア活動に参加しやすくなる条件（問 23-4）

【問 23-4 は、問 23 で「2. 参加していない」と回答した方にお伺いします】
 問 23-4 どのような条件が整えば、地域活動やボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。（〇は3つまで）

- ・ 地域活動・ボランティア活動に参加しやすくなる条件は、「家の近くでできること（34.6%）」が最も多く、「ともに活動する仲間や友人がいること（33.0%）」、「わずかな時間（1時間未満）でできること（29.7%）」、「身体的負担が少なく誰でも簡単にできること（28.6%）」が続いている。
- ・ 性・年代別にみると、男性 18～29 歳、女性 18～29 歳、30～49 歳、50～64 歳では「ともに活動する仲間や友人がいること」、男性 30～49 歳、50～64 歳では「わずかな時間（1時間未満）でできること」、男女ともに 65～74 歳では「家の近くでできること」、男女ともに 75 歳以上では「身体的負担が少なく誰でも簡単にできること」が最も多くなっている。

図表 地域活動・ボランティア活動に参加しやすくなる条件（全体）
 <地域活動・ボランティア活動に参加していない人>



図表 地域活動・ボランティア活動に参加しやすくなる条件
 (全体、性・年代別) <地域活動・ボランティア活動に参加していない人>

(%)

		回答者数	ともに活動する仲間や友人がいること	趣味や特技を活かせること	身体的負担が少なく誰でも簡単にできること	家の近くでできること	わずかな時間(1時間未満)でできること	謝礼金ができること
全体		731	33.0	18.6	28.6	34.6	29.7	5.9
性・年代別	男性-18~29歳	18	33.3	27.8	11.1	22.2	16.7	22.2
	男性-30~49歳	82	36.6	18.3	20.7	25.6	37.8	3.7
	男性-50~64歳	105	24.8	21.9	23.8	23.8	35.2	8.6
	男性-65~74歳	52	34.6	30.8	19.2	42.3	25.0	1.9
	男性-75歳以上	72	22.2	19.4	36.1	31.9	13.9	2.8
	女性-18~29歳	37	54.1	29.7	27.0	35.1	29.7	27.0
	女性-30~49歳	98	48.0	16.3	30.6	46.9	41.8	5.1
	女性-50~64歳	96	34.4	15.6	31.3	32.3	31.3	7.3
	女性-65~74歳	84	32.1	14.3	41.7	51.2	35.7	1.2
女性-75歳以上	76	19.7	10.5	28.9	27.6	13.2	0.0	

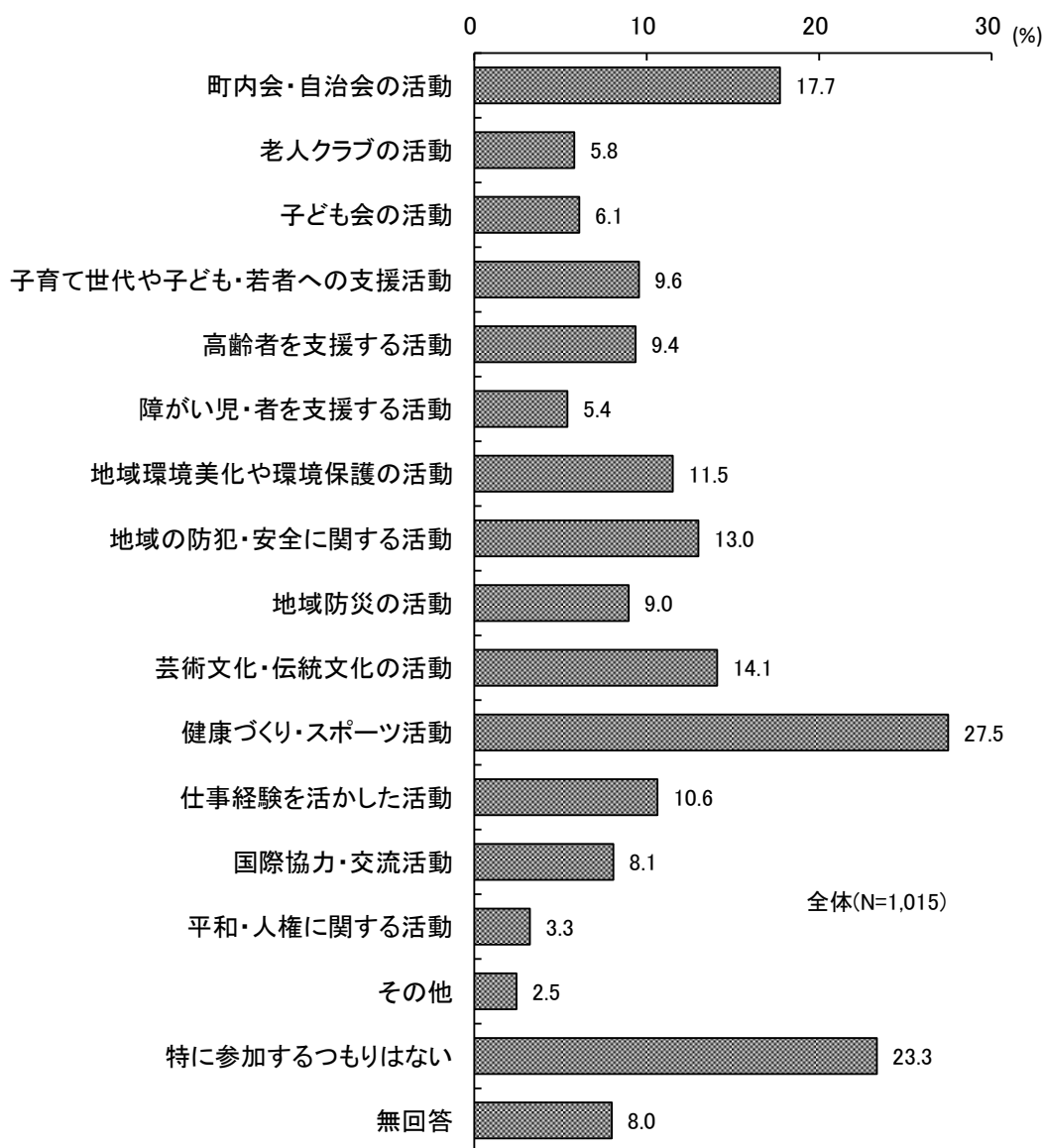
		回答者数	知識や技術を学べる機会があること	適切な指導者・リーダーがいること	活動についての情報提供があること	その他	わからない	無回答
全体		731	10.8	14.8	21.2	4.0	11.1	7.7
性・年代別	男性-18~29歳	18	16.7	5.6	16.7	5.6	22.2	5.6
	男性-30~49歳	82	18.3	12.2	24.4	6.1	11.0	3.7
	男性-50~64歳	105	11.4	18.1	24.8	3.8	12.4	2.9
	男性-65~74歳	52	11.5	11.5	26.9	1.9	7.7	9.6
	男性-75歳以上	72	8.3	8.3	18.1	9.7	12.5	11.1
	女性-18~29歳	37	21.6	29.7	40.5	0.0	8.1	2.7
	女性-30~49歳	98	9.2	14.3	19.4	1.0	7.1	3.1
	女性-50~64歳	96	7.3	16.7	17.7	3.1	11.5	4.2
	女性-65~74歳	84	10.7	15.5	16.7	2.4	7.1	8.3
女性-75歳以上	76	5.3	14.5	17.1	6.6	17.1	23.7	

⑤ 今後参加したいと思う地域活動・ボランティア活動（問 24）

問 24 今後参加したいと思う地域活動やボランティア活動をあげてください。
（あてはまるものすべてに○）

- ・ 今後参加したいと思う地域活動・ボランティア活動は、「健康づくり・スポーツ活動（27.5%）」が最も多く、「町内会・自治会の活動（17.7%）」、「芸術文化・伝統文化の活動（14.1%）」が続いている。「特に参加するつもりはない」は 23.3%である。

図表 今後参加したいと思う地域活動・ボランティア活動（全体）

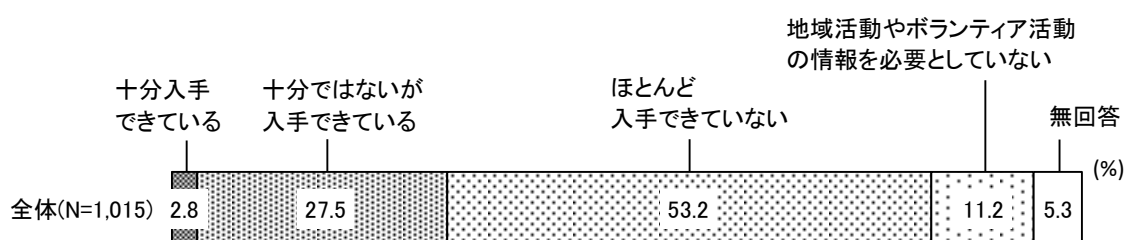


⑥ 地域活動・ボランティア活動の情報の入手程度（問 25）

問 25 あなたは、地域活動やボランティア活動の情報を、どの程度入手できていると感じていますか。（○は1つだけ）

- 地域活動・ボランティア活動の情報の入手程度は、「ほとんど入手できていない（53.2%）」が50%を超えており、「十分入手できている（2.8%）」と「十分ではないが入手できている（27.5%）」を合計しても入手できている人は30.3%となっている。「地域活動やボランティア活動の情報を必要としていない」は11.2%となっている。

図表 地域活動・ボランティア活動の情報の入手程度（全体）



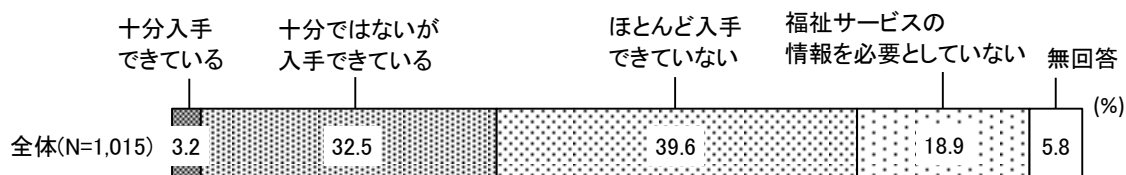
5 市の福祉サービス

① 福祉サービスや福祉の制度、仕組みの情報の入手程度（問 31）

問 31 あなたは現在、自分に必要な福祉サービスや福祉の制度、仕組みの情報を、どの程度入手できていると感じていますか。（○は1つだけ）

- 福祉サービスや福祉の制度、仕組みの情報の入手程度は、「ほとんど入手できていない」が39.6%となっており、「十分入手できている（3.2%）」と「十分ではないが入手できている（32.5%）」を合計した《入手できている》は35.7%となっている。「福祉サービスの情報を必要としていない」は18.9%となっている。

図表 福祉サービスや福祉の制度、仕組みの情報の入手程度（全体）



6 福祉施策

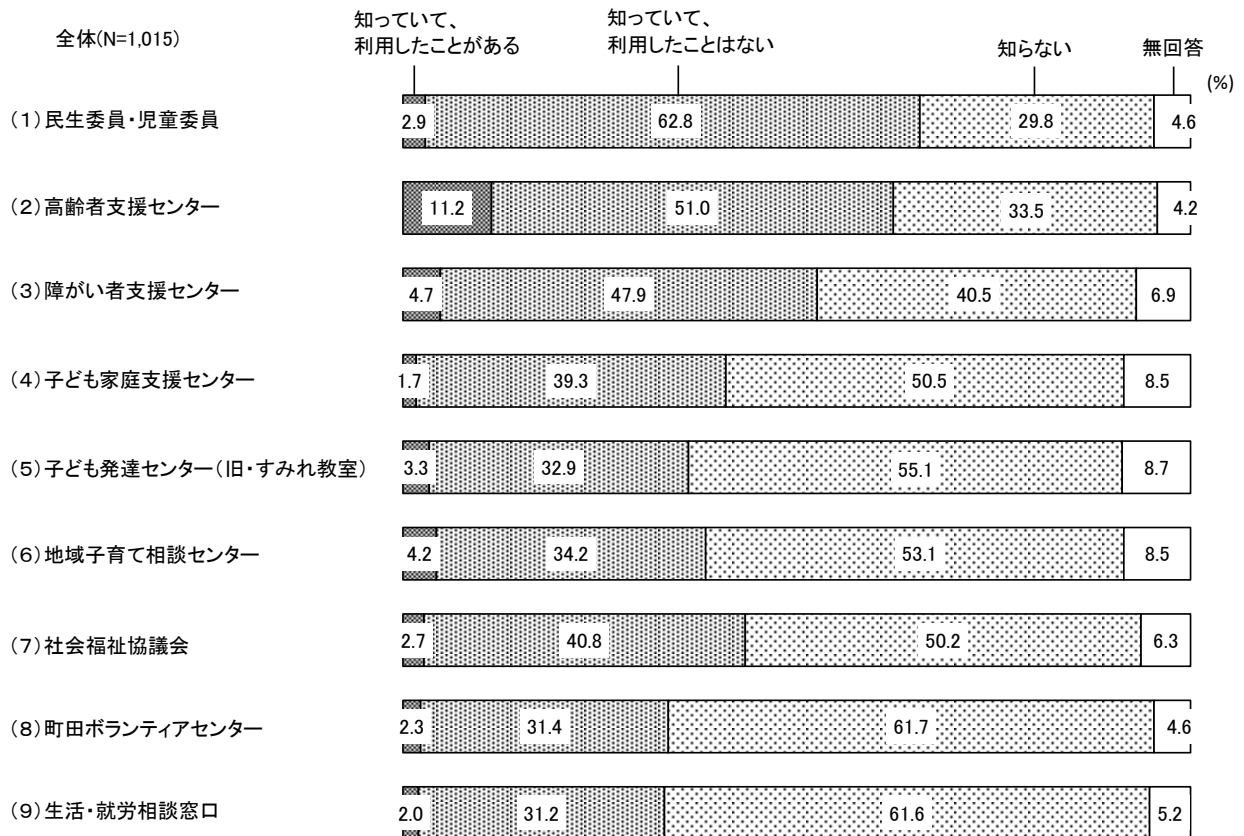
① 福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度・利用状況（問 32）

問 32 あなたは、次の福祉に関わる相談窓口・機関などを知っていますか。

（1）～（9）それぞれ1つに○をつけてください

- ・ 福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度・利用状況は、「知っている、利用したことがある」の割合は、『高齢者支援センター（11.2%）』のみ10%を超えている。
- ・ 「知っている、利用したことがある」と「知っている、利用したことはない」を合計した《認知度》は、『民生委員・児童委員（65.7%）』が最も高く、『高齢者支援センター（62.2%）』、『障がい者支援センター（52.6%）』、『社会福祉協議会（43.5%）』が続いている。

図表 福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度・利用状況（全体）



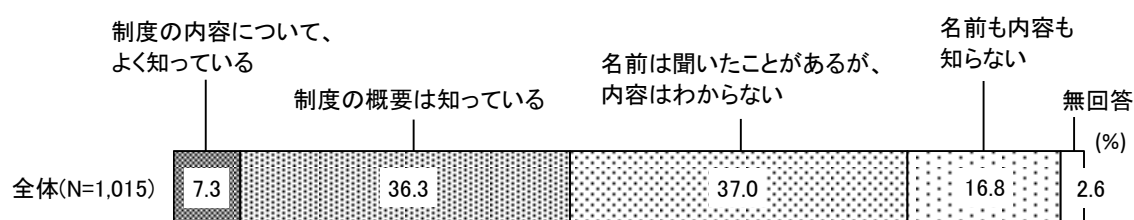
② 成年後見制度の内容の認知状況（問 33）

問 33 あなたは成年後見制度のことを知っていますか。（○は1つだけ）

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方について、その方の権利を守る援助者（「成年後見人」など）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。

- ・ 成年後見制度の内容の認知状況は、「制度の内容について、よく知っている」が7.3%、「制度の概要は知っている」が36.3%であり、合計すると《概要は知っている》は43.6%となっている。

図表 成年後見制度の内容の認知状況（全体）



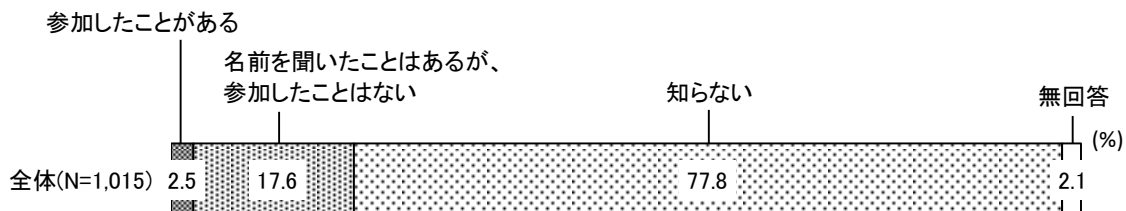
③ 地区別懇談会の認知度・参加状況（問 36）

問 36 あなたは、町田市と町田市社会福祉協議会が共催で毎年開催している、地区別懇談会に参加したことはありますか。（○は1つだけ）

※地区別懇談会とは、町田市内10地区ごとに、地域住民や活動団体が顔を合わせて、地域の福祉課題などを共有し、自身の地域について話し合う場を提供することを目的に開催しています。地区別懇談会で出た意見から課題解決の取組みが生まれています。

- ・ 地区別懇談会の認知度・参加状況は、「参加したことがある」が2.5%、「名前を聞いたことはあるが、参加したことはない」が17.6%であり、合計すると《認知度》は20.1%となっている。

図表 地区別懇談会の認知度・参加状況（全体）



④ 地域福祉に関する施策で今後重要だと思うこと（問 37）

問 37 あなたが、町田市地域福祉に関する施策の中で、今後、特に重要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

- ・ 地域福祉に関する施策で今後重要だと思うことは、「福祉制度・福祉サービスに関する情報提供の充実（51.3%）」が最も多く、「相談支援窓口・相談支援体制の充実（48.6%）」、「地域住民の互いのささえあい・助け合い活動の促進（25.2%）」が続いている。

図表 地域福祉に関する施策で今後重要だと思うこと（全体）

